

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 金島 弘

副会長 宮内 秀章

幹事 櫻井 公恵

会計 常世田 祐一

2018-2019年度 RI会長テーマ

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

RI会長 パリー・ラシ



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館5階大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第3018号(2018年11月21日発行)

今週のプログラム

「入会した頃の思い出」

猿田 正城会員

前回例会報告(11月14日)

点鐘：金島 弘会長

ロータリーソング：我等の生業

四つのテスト唱和



本日のソングリーダー
淵岡彰介会員

ビジター紹介

学校法人千葉白菊学園 理事長 鳩川 泰也様

銚子東ロータリークラブ 会長 大内 一恭様

会長挨拶



第二週です。職業の建築基準法の新耐震基準についてお話します。昭和55年(西暦1980年)が

分かれ道で、阪神淡路大震災で全半壊した住宅は約26万戸です。その多くは現行の耐震基準が適用される前の住宅か、基準通りに建てられていない住宅だと言われています。日本の耐震基準は建築基準法に規定されており、これまで幾度か改正されています。建築物の設計において適用される地震に耐えることのできる構造の基準で、昭和56年

(西暦1981年)6月1日以降の建築確認において適用されている基準をいいます。これに対して、その前日まで適用されていた基準を「旧耐震基準」といいます。新耐震基準は、震度6強～7程度の揺れでも倒壊しないような構造基準として設定されています。技術的には、地震力が加えられた場合の構造部材に生じる応力が許容応力以下であるだけでなく、一定以上の規模の建物については、粘り強さを確保することが求められ、また建物強度のバランスも必要とされます。なお、旧耐震基準は、震度5強程度の揺れでも建物が倒壊しないような構造基準として設定されていました。

阪神・淡路大震災では、死者数のうち9割が建築物に起因するものであり、このように過去の地震の被害からも、昭和56年6月以前に建築され、耐震性が不足していたと考えられる建築物に多くの被害が確認されています。過去の地震被害からも、特に耐震化が必要とされる千葉県内の住宅は平成25年度で約39万戸見込まれています。大地震の発生切迫性が指摘される中、地震被害を最小限にするため、こうした住宅の耐震化が急務となっています。また、平成28年に発生した熊本地震において、平成12年5月以前に建てられた新耐震基準の木造住宅にも倒壊等の被害が確認されました。これを受け、平成12年5月以前の耐震基準の木造住宅を対象とした新耐震木造住宅検証法が一般社団法人日本建築防災協会により取りまとめられ、同協会のホームページで公用されています。

銚子市では、平成28年3月に「銚子耐震改修促進計画」を決定しました。耐震改修促進計画には、市有建築物、住宅および特定建築物等の耐震化を促進するための方針等を定めています。



第2790地区
ガバナー 橋岡久太郎 (佐倉中央RC)

広報・会報委員会
委員長 永澤 信 副委員長 島田洋二郎
委員 大岩 將道

幹事報告

1. 地区財団寄付レポート
2. ロータリー希望の風奨学金/風の便り VOL. 4
…ガバナー事務所
3. ハイライトよねやま 224
…公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

【例会変更】

小見川RC

- 11月10日(土)第9グループ情報研修会
点鐘14時 パレス大藤
- 14日(水)10日の振替休会
- 20日(水)定款第8条第1節Cによる休会
- 12月19日(水)忘年家族会 点鐘18時30分
割烹旅館丸山
- 26日(水)定款第8条第1節Cによる休会

会員の記念日

誕生日おめでとうございます。



松本恭一会員
(11月9日)

櫻井公恵会員
(11月9日)

- 入会記念日 石毛 英俊会員 (11月9日)
- 結婚記念日 寺内 忠正会員 (11月8日)
- 淵岡 彰介会員 (11月12日)

ニコニコBOX なし

卓 話

「おもしろ経営 ～事業継承と再建、そして〇〇」
学校法人千葉白菊学園 理事長 嶋川 泰也 様



この度は銚子ロータリークラブでの卓話の機会を頂戴し、誠にありがとうございます。私は平成

17年より学園の理事長、幼稚園の園長に就任し、経営者として今年(平成30年11月)で14年目。園児減少の為に閉園を迫られた千葉白菊幼稚園をどのように経営改革してきたかをお伝えさせていただきます。

自分が入るまでの千葉白菊幼稚園

昭和45年に祖父創立の幼稚園に後継者として平成7年4月より勤務開始。公団(現UR都市機構)が整備した千葉市美浜区の幸町団地のど真ん中という好立地。40年代後半は団地造成と共に最大480名もの園児が通うマンモス園。当時は幼稚園が少なく、箱を建てればどの園でも定員超過。経営的に見れば追い風。全国的にどの園も同じ状況。後に少子高齢化が進み、徐々に園児減少。

社会人として我が園に入職し気づいた点は、当時叔母が園長を務める千葉白菊幼稚園は「どこにでもありそうな、ごくありきたりの幼稚園」だったこと。教育一筋だが特に人目を惹きつけるような魅力的な幼稚園ではなかった。現実を目の当たりにし、将来に不安を抱き始めた。

私立幼稚園の今昔

かつては「家から近い幼稚園を選ぼう」。しかし現在はまったく異なる。なんとなく園運営をしてさえいれば経営が順調なのは、今は昔の話。幼稚園数は多いが、園児数は反比例し激減。園児減少の煽りを受け閉園する園は後を絶たず。保護者は数ある園からどこが我が子に相応しいかよく吟味し選ぶような時代に。正に経営の手腕が試される時代へと。

私立幼稚園が一般企業経営と異なる点は、「いいモノ」を作れば「売れる」という単純な業態でないこと。一見、顧客は「園児」と思われるだろうが、経済的支援を始め様々な判断をする「保護者」が介在する。「質の良い教育」を善意に取る保護者ばかりでなく、穿った見方をされ誤解をされる人がいることも事実。様々な保護者に如何に園の方針を理解・納得してもらうのか。そして期待以上の成長を遂げた我が子を通して感動を与え、結果口コミを広げてもらうのが園経営の要。その園児を含む保護者までをも教育し、かつ圧倒的な園のファン作りを常に心がけていないと、一過性のファンはすぐに去ってしまう。

理事長代理として

「祖父が創立した園だから」、「園児減少で潰れそうだから」、「いきなり経営者(理事長代理)の立場として働けるから」・・・そんな理由で勤め始めた家族経営の職場。理事長である祖父は高齢の為、前園長に任せっきり。前園長は約30年副園長を続けていたので、「園児減少は子どもの数が減ってきたから仕方ない。最悪の状況になれば閉園もやむなし」と職員の前で断言する始末。私立幼稚園は「教育と経営」の両輪が大事。しかしながら経営そ

うちのけで教育ばかり。大局からみれば誤った判断ばかりの無能な経営者に過ぎない。市内の先輩園長先生方とお付き合いの機会を得、園経営を教わり、何度も自園に落とし込もうと奮闘。結果、前園長との仲が最悪となり、平成13年4月私が退職することに。

名実ともに経営者として園に戻る

平成17年4月から学校法人理事長、幼稚園園長として現場復帰。園児数は67名にまで減少。職員4名と園長経験ゼロの私。期待と同じくらい不安で手探り状態でのスタート。

新米園長への洗礼は始業式当日から。いきなり若い園長に替わり、腹立たしく思う保護者達に囲まれての罵倒。目につくもの触れるもの全てにクレーム。言い掛かりや難癖としか呼べないものの方が多かった。一つずつ丁寧に聞き、経営者としての自分の考えを伝える日々。常に見下されナメられる辛い毎日。しかし保護者には毅然とした態度、職員の前でも常に自信満々の園長を貫く。いつも胸を張り笑顔で自信に満ち溢れた経営者を演じる。「悔しい、バカバカしくてやってられない！辞めたい！」と思うことも。しかし頭の片隅には常に「負けるものか!」。常に正しいことをしている自負があったので、ちょっとやそっとじゃ引くわけにはいかない。「どうしても園経営を建て直すぞ!」経営再建を考え続ける日々

「園児を増やすには?」「園児や保護者を喜ばせるには?」と四六時中思いを巡らせ、時間の許す限り学ぶ。有名な幼稚園、保育園、企業を視察し、経営者に尋ね、セミナー、勉強会、書籍等々、考え得るあらゆる方法で貪欲に情報を吸収した。そこで勉強熱心な先輩園長先生や経営者の方々との数々のご縁、様々な事例、考え方、世界と出会う。そのご縁は継続中。以下が私を成長へと駆り立ててくれたご縁。

1. 先輩園長先生方との出会い
2. 関係業者さんとの出会い
3. 教職員との出会い
4. 子ども達との出会い
5. 研修会での同志の皆さまとの出会い
6. 応援してくださる保護者の皆さまとの出会い

しかしこれだけではない。罵声雑言を浴びせた保護者達との出会いは外せない。この方々がいてくれたからこそ、園経営に真剣に向き合えた。正に「苦難福門」(苦難は幸福に入る狭き門)。様々なクレマーが私を鍛えてくれたからこそ、このことに気づく。それは「子女名優」(子は親の心を実演する名優である)。

園児たちにより良い環境を整えるには、より質の高い環境を求める親が集う場にあること。即ち教育に関心の高い保護者を集めること。端的に言えば、教育内容を充実させ、相応しい価格(授業料)

を納得の上、お支払いいただける保護者層(客層)をメインターゲットにする経営。この13年の経営は如何に顧客単価を上げる経営にシフトするべきか?そしてそれをどう教育に反映していくかの挑戦。教育内容と付加価値をシンクロさせること。地域性を考慮しながらそれを着実に浸透させた。

園長職・・・いまむかし

「園長らしくあるためには?」と常に「・・・らしさ」を追求。日を追う毎に明らかになってきた。

「園長らしく」ある前に「自分らしく」いなければならない。どんな場面でも私自身の言葉、考えで判断し、前進し、改めるべきは即改め、成長していかなければならない。そう認識できた時に、失敗もまた成功するためのちょっとした寄り道と思えるように。

園経営に際し具体的に行ったことは以下の通り。

1. ○と×の洗い出し
2. 環境整備→今では新園舎改築後5年経過
3. 園内の各種イベントの充実
4. とにかく「元氣な挨拶」の徹底
5. 子ども達にたくさんの園外での体験提供
6. 理想の保護者の獲得

人間は環境の生き物

幼稚園での最大の環境は・・・園舎?制服?園バス?遊具?給食?全て大事だが、一番大事な環境は教師。家庭では両親兄弟が一番大事な環境。園では教師が一番大事な環境なので、人財育成が環境整備の要。つまり教育活動は現場の教師の想い次第。現場の教師の在り方、考え方が非常に問われる。その事に気づき、園児を指導する教師の人間性を磨くことに主眼を置く。もちろん経営者自身が先ずは率先垂範。「やり方」より「在り方」が大事。その「在り方」については繰り返し職員に伝える。保護者に対しても同様。とにかく「やり方」と呼ばれる技術の向上に目を向けがちだが、実はその前に「在り方」といえる人間性の向上が優先。大人も子どもも「人間」であり、「環境の生き物」であるから、いかに人間性を高め、その場をより良い環境にして成長出来るかがとても大切。

0歳~9歳までの学び舎として

幼稚園は3歳、4歳、5歳の3学年がメインの顧客(園児)だが、0~2歳も顧客予備軍である。平成28年4月から園舎内に「しらぎくナーサリー(千葉県認可小規模保育事業所)」を開設。

また卒園後も子どもたちを引き続き見守って欲しいとの保護者からの強い要望により、卒園児対象に小学校放課後特別クラス(学童塾)を2年前より開設。小学校に入学してからも、良い習慣の継続のため通う利用者も多い。

これから目指すべきこと

1. 更なる成長とブレない自分(徹底した教育真価の追及)

2. 既存、新規問わず保護者への啓蒙（独自性の確立、想いを発信する場の創造）
3. 距離を超えた顧客作り（圧倒的なファン創りへの邁進）

最後に・・・

私が願う園児達の成長像は・・・

1. マクロに見ると「世の為、人の為に役に立つ大人」。つまり「人の喜びを我が喜びと思える大人」で、子ども達には『ありがとう』をたくさん言える大人」と伝えている。

2. ミクロに見ると「周囲の人に可愛がられる大人」。それは「多少、仕事が出来なくたって、気持ちのよい挨拶がきちんと出来て、皆から可愛がられる大人」。だから私は挨拶の徹底を励行。

結局、大人である我々は「能力」よりも「人柄」が大事。

経営者になった当初、藁をも掴む思いで東奔西走。同時に「何が大事なのか？」を徹底的に考え、「園児をどう集めるか？」よりも「経営者として園長としてどう私自身が在るべきか？どう処するべきか？」が大事だと気付いた。無論、経営者という立場は変わらない。子どもはもちろん我々大人が「如何に成長するか？」もしくは「成長出来るか？？」という方向に“やる気”のベクトルが向いた瞬間から、私の物差しは「利益」から「成長」へシフト。もちろん守るべきものがあるので、利益は大事。しかしどれだけ「ありがとう」と周囲に対して感謝し、「ありがとう」と言ってもらえる人間に成長できるか？という事に気付いた時、「利益」は後から追いかけてくるようになったのかもしれない。



報告 高橋宏資 AG



八日市場 RC からポールハリスの木(月桂樹)を頂きましたので、クラブに寄贈します。

クラブ表彰



第 22 回米山功労クラブ感謝状を頂きました。

【出席報告】

会員総数41名 出席計算38名

出席:31名 欠席:7名

出席率81.58%

欠席者: 泉君・宮内(秀)君・村田君・大里君
鈴木君・高橋宏明君・富永君

【M U】

11/13 旭・八日市場 RC 合同例会 宮内(秀)君

11/17 スリランカセミナー 金島君

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 7,000	計	¥ 211,060
スモールコイン	¥ 2,500	計	¥ 21,964
米山 BOX	¥ —	計	¥ 20,818
希望の風	¥ —	計	¥ 126,250

次週(11月28日)のプログラム

「電気工事と労災」 青野 秀樹会員

お弁当:入船(幕の内)

12月例会プログラム

12月 疾病予防と治療月間

5日 第62回年次総会

「私の人生と職業」 小田島國博会員

12日 千葉科学大学 危機管理学部

環境危機管理学科 准教授 小濱 剛様

19日 夜間移動例会クリスマス家族親睦会

太陽の里 点鐘18時

26日 定款第8条第1節(C)により休会

2019年

1月 職業奉仕月間

2日 定款第8条第1節(C)により休会